

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援くらっぴ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2025年 4月 5日		2025年 4月 22日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10	(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・各訪問先と連携しながら訪問を行うことができている。	・保育所等訪問支援の計画書やアセスメント情報、保護者からの話などをその都度共有し合い、情報共有しあっている。	・担任だけでなく、加配職員や園長など、園全体への共有を行う。
2	・定期的かつ継続して訪問を行っている。	・訪問先にアポイントメントを取り、児童に合わせて定期的に訪問するようにしている。 ・アポイント忘れなどがないように、職員間で連携を取っている。	・職員の確保を行い、さらに定期的(月1回程度)行えるようにしながら、児童の訪問を円滑に行えるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門職員による訪問がなかなか行けていない。	・児童発達支援の人員配置の都合もあり、専門職員がなかなか訪問に行くことができていない。 ・多職種連携を行いにくい。	・人員を確保し、2人で訪問に行けるようにする。
2	・訪問先とゆっくりと話せる時間の確保がなかなかできていない。	・訪問後の時間設定のため、担任及び加配が保育中のため、なかなかゆっくりと話す機会が難しい。	・事前に伝え、抜ける部分に対しての補助を行ってもらえるように園側と連携できるようにする。
3			